

# 記録書 No.12

(2014 年 10 月 17 日～2014 年 11 月 3 日)

2014 年 11 月 04 日  
乃村研究室 B4  
藤田 将輝

## 0. 前回ミーティングからの指導・指摘事項

### (1) 特になし

## 1. 実績

### 1.1 研究関連

#### (1) 研究テーマに関する項目

- |                           |                |
|---------------------------|----------------|
| (A) 参考文献の読解               | (50 % , +0 %)  |
| (B) 使用する共有メモリ領域の検討        | (55 % , +0 %)  |
| (C) NIC のデバイスドライバの改変箇所の調査 | (30 % , +10 %) |
| (D) NIC ドライバの改変           | (10 % , +10 %) |

#### (2) 開発に関する項目

- |                        |               |
|------------------------|---------------|
| (A) 自動ビルドスクリプトの作成      | (95 % , +0 %) |
| (B) debian での Mint の構築 | (0 % , +0 %)  |

#### (3) 第 13 回 New 開発打ち合わせ (10/22)

#### (4) 第 263 回 New 打ち合わせ (10/31)

### 1.2 研究室関連

#### (1) 平成 26 年度第 2 回研究室内部屋別対抗ボウリング大会 (10/17)

#### (2) 平成 26 年度 M1 論文紹介 (10/30)

### 1.3 大学・大学院関連

#### (1) 岡山大学際 (11/1,2)

## 2. 詳細および反省・感想

### 2.1 研究関連

- (1D) NIC ドライバでのパケットの授受を Mint の共有メモリでするため, NIC ドライバを改変している. 現在は NIC ドライバの送信処理の関数内でパケットら

しきものを共有メモリに格納できることを確かめた．今後はパケットの構造を調査し，擬似的なパケットを作成できるようにする．

## 2.2 研究室関連

- (2) 平成 26 年度 M1 論文紹介に参加した．先輩方の堂々とした態度とわかりやすいスライドの構成が参考になった．また，限られた時間内で紹介したいことを伝えきることの難しさを感じた．自身が発表するときには先輩方の発表を参考にし，よく練習して発表に臨む．

## 3. 今後の予定

### 3.1 研究関連

#### (1) 研究テーマに関する項目

- (A) 参考文献の読解 (11/12)
- (B) 使用する共有メモリ領域の検討 (11/11)
- (C) NIC のデバイスドライバの改変箇所の調査 (11/20)
- (D) NIC ドライバの改変 (11/30)

#### (2) 開発に関する項目

- (A) 自動ビルドスクリプトの作成 (11/30)
- (B) debian での Mint の構築 (11/30)

#### (3) 第 14 回 New グループ開発打ち合わせ (11/05)

#### (4) 第 264New 打ち合わせ (11/10)

### 3.2 研究室関連

- (1) 全体ミーティング (11/13)
- (2) 特別研究中間報告 (11/21)